

御 挨拶

謹啓 入梅の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます

この度、日本超音波医学会第93回学術集会を2020年5月22日（金）～5月24日（日）の3日間、宮城県仙台市にて開催する運びとなりました。東北地方での開催は23年ぶりとなります。本学術集会のテーマを「原点回帰」と設定しました。本学会の特長である、臨床領域と工学基礎の融合の推進が必須であり、その面白さを次世代が理解する機会を設けることに、この「原点回帰」の意味があります。

本学会は、臨床医、超音波検査技師、機器開発技術者等が一体となって、超音波医学の発展と我が国における医療水準の向上に寄与することを目的に設立されました。超音波医学の原点に回帰し、「学術集会本来の意義」を改めて見直し、学術を重視することで、参加者一人一人の基礎研究、臨床研究がより進展し、若手医療従事者の育成および患者さんへの啓発・教育の充実を図ります。それらが更に、国民の健康・福祉・生き方にまで貢献できるものと確信しております。

本学術集会の規模としては、参加者およそ4,000名です。会員からの情報や意見を収集すると共に、参加者同士の情報交換の場としても重要な役割を果たします。

学術集会の企画・運営につきましては、出来る限り簡素を旨とし、鋭意準備を進めておりますが、会員と事務局の自助努力だけでの準備・運営では、充実した学術集会にはなりません。皆様の知見とご支援をいただくことで、学術集会がより厚みを増します。共催セミナー、ご寄附等のご支援を通じて、共に、超音波医学の更なる発展に尽力して行くことが出来れば、大変喜ばしい限りでございます。誠に恐縮ではございますが、本学会のこうした主旨をご理解いただければ幸いです。

ご高配のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆でございますが、皆様の益々のご健勝を心より祈念申し上げます。

謹白

令和元年6月吉日

日本超音波医学会第93回学術集会

会長 金井 滉

(東北大学大学院工学研究科/医工学研究科)

